

承認番号 RD5607-466

文書番号 09056482

作成日 平成 21 年 5 月 25 日

ビニル巾木専用接着剤

EM ハバキ試験成績書

株式会社タイルメント

技術開発センター

1. 目的 ビニル巾木用接着剤 EM ハバキの接着性能評価試験を行った。

2. 試験項目

2.1 JIS A 5536「床仕上げ材用接着剤」に準ずる引張接着強さ試験

2.2 JIS A 5536「床仕上げ材用接着剤」に準ずる 90 度はく離接着強さ試験

3. 供試材料

3.1 JIS A 5536「床仕上げ材用接着剤」に準ずる引張接着強さ試験

被着材: ホモジニアス床タイル(40×40mm)

下地材: フレキシブル板(178×70×6mm)

3.2 JIS A 5536「床仕上げ材用接着剤」に準ずる 90 度はく離接着強さ試験

被着材: 塩ビ巾木(200×25mm)、基布付き塩ビシート(200×25mm)

下地材: フレキシブル板(150×70×6mm)

4. 試験方法

4.1 JIS A 5536「床仕上げ材用接着剤」に準ずる引張接着強さ試験

フレキシブル板(70×178×6mm)に、くし目ごて(幅×高さ×ピッチ:2×2×4.5mm、V ノッチ)を用いて接着剤を塗布した。被着材を置き 1kg のおもりにて 5 秒間圧縮し、23±2°C、50±10%RH にて 168 時間養生を行った後、テンシロン万能材料試験機 UTM-10T により、変位速度 3mm/min にて測定を行なった。

4.2 JIS A 5536「床仕上げ材用接着剤」に準ずる 90 度はく離接着強さ試験

フレキシブル板(70×150×6mm)に、くし目ごて(幅×高さ×ピッチ:2×2×4.5mm、V ノッチ)を用いて接着剤を塗布した。被着材を置き 5kg のハンドローラにて 2 往復して圧縮し、23±2°C、50±10%RH にて 168 時間養生を行った後、島津製作所(株)オートグラフ AGS-1000A により、変位速度 200 mm/min にて測定を行なった。

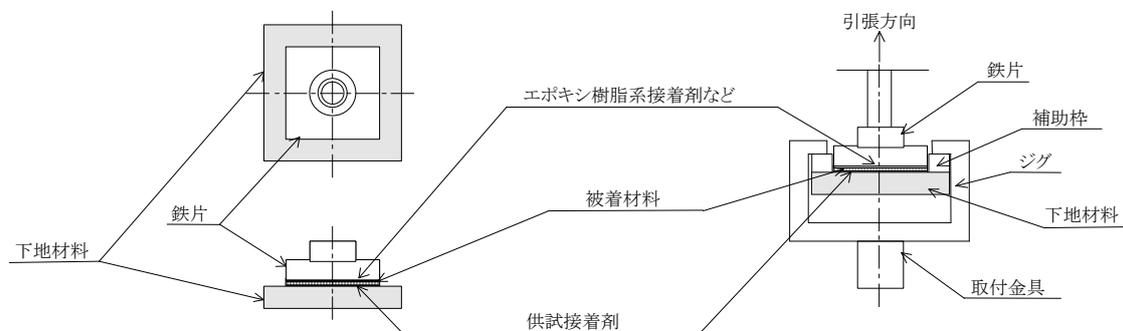


図 4.1 引張り接着強さ試験図

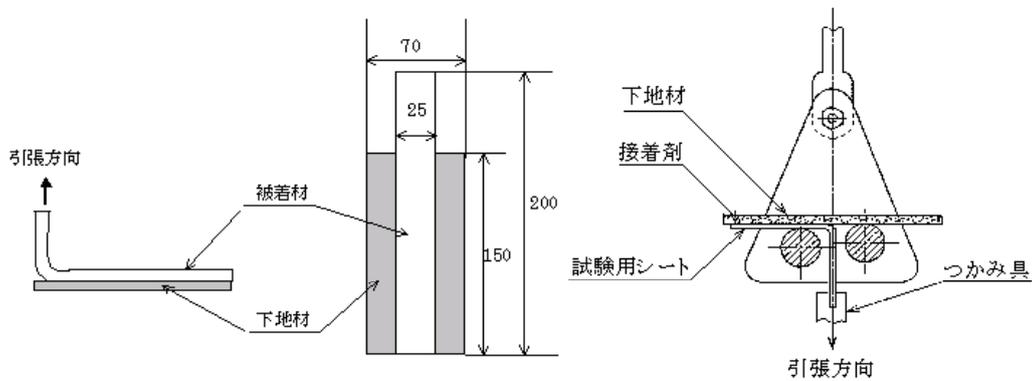


図 4.2 90 度はく離接着強さ試験図

5. 結果

表 5.1 引張り接着強さ試験

n	強度(N/mm ²)	破壊状態
1	0.83	GA100
2	0.88	GA100
3	0.83	GA100
4	0.86	GA100
5	0.76	GA100
ave.	0.83	

表 5.2 90 度はく離接着強さ試験

n	塩ビ巾木		基布付き塩ビシート	
	強度(N/25mm)	破壊状態	強度(N/25mm)	破壊状態
1	30.9	A20GA80	27.3	A10GA90
2	26.8	GA80	36.0	A90GA10
3	28.2	A10GA90	21.3	GA100
4	31.3	A30GA70	40.3	A90GA10
5	31.7	GA100	33.2	A40GA60
ave.	29.8		31.6	

表 5.3 JIS 基準値

	基準値
引張接着強さ試験	0.2N/mm ²
90 度はく離接着強さ試験	10N/25mm

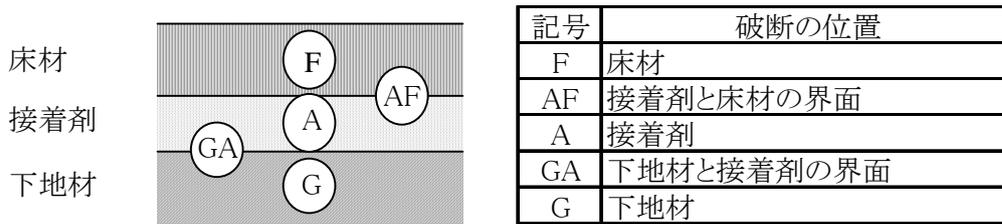


図 5.1 破壊状態図

6. 考察

接着性能評価試験を行った結果、すべて JIS の基準値を上回る結果であった。よって、ビニル巾木専用接着剤 EM ハバキの接着性能に問題ないと判断する。

●本試験成績書の記載内容は、当社の試験データを基に作成し、十分信頼し得るものと確信しておりますが保証値ではございません。現場施工においては施工箇所環境・使用材料・施工条件などが異なりますので、確実な施工を行なう為にも施工前に用途・条件などをご自身で十分ご検討下さい。